

しばらく、そのまま、むかい風から、顔をよけて、足元、左側を下向きにして歩く。

五時頃である。

タクシーが通りかかり、そのまま、平安神宮、美術博物館前のアリトナへ急ぐ。

僕はローラースケートで鍛えてある。ローラースケートと同じ様に、スケートも滑れる。

また、ローラースケートと同じ様に、こける時はこける。

皆、うまそうに見える。

しかし、僕は、体裁構わず滑った。

僕は上は制服を脱ぎ、毛糸のセータのまま、白い軍手をはめて、すぐ様すべる。

「少し、すべれば体が慣れるじゃろ」とて勢いつけた拍子に、ドッシン、尻餅つく。

お尻が、ビッシヨリ。

それでも、また、滑る。

しばらくして、また、勢いあまって、またまた、つるりとこける。

ズボンがびっしょり。それでも平気。

女って、鋭いなあ